

令和4年5月6日

報道各位

勝山市 未来創造課

“ミニ除草ロボット”を活用した有機米栽培の実証事業 の実施について

鹿谷小学校5,6年生が総合の時間を活用し、勝山市ICT教育アドバイザー（松田 優一氏）からプログラミングを学びつつ、“ミニ除草ロボット”を活用した有機米栽培の実証事業に取り組みます。

記

1. ミニ除草ロボットとは

田植え直後に生える雑草の繁茂を抑制するロボットのこと。通常は田植えと同時に除草剤を散布し雑草の繁茂を抑制するが、ミニ除草ロボットは除草剤を使わずに雑草の繁茂を抑制（中耕除草という。）する。なおロボットの制作は松田氏が行う。

ロボットはプログラミングで制御され、自動運転を行う。このプログラミングを鹿谷小学校5,6年生が構築する。

2. スケジュール

- ・令和4年5月24日 総合の学習にてプログラミングを構築
- ・令和4年5月下旬～6月上旬 田植え
- ・令和4年6月上旬～中旬※ 中耕除草開始 概ね1～2週間程度
（※田植えから1週間程度）

3. 場所

勝山市立鹿谷小学校 勝山市鹿谷町本郷34-1

※ミニ除草ロボットを活用する水田は小学校に隣接しています。

4. 参加者

鹿谷小学校5,6年生（5年生14名、6年生12名）

勝山市ICT教育アドバイザー 松田 優一氏（勝山市在住）

【担当】

○勝山市未来創造課（市役所2階）
企画調整・国際交流係 辻
TEL_0779-88-1115

“ミニ除草ロボット”を活用した有機米栽培の実証事業の実施について

1. 事業概要

小学生がプログラムしたミニ除草ロボットを活用し除草剤を使わない水稻栽培の実証実験を実施

2. スケジュール

令和4年5月24日 総合の学習にてプログラミングを構築、田んぼ等での試走

令和4年5月下旬～6月上旬 田植え

令和4年6月上～中旬 ※田植えから1週間程度後

中耕除草開始 概ね1～2週間程度

3. 場所

勝山市立鹿谷小学校 勝山市鹿谷町本郷 34-1

※ミニ除草ロボットを活用する水田は小学校に隣接しています。



4. 事業詳細

- (1) 鹿谷小学校の5、6年生が総合の学習の時間を活用し、ミニ除草ロボットの動作プログラムを構築
- (2) 地元生産組合に協力していただき、鹿谷小学校5年生が総合学習で取り組んでいる水稻栽培で使用している田んぼ(5畝程度)を活用し、ミニ除草ロボットによる中耕除草の実証実験に取り組む
- (3) ミニ除草ロボットの製作はICT教育アドバイザーに依頼し3台程度を準備
- (4) 田植え後、苗が活着(概ね1週間程度後)してから1～2週間程度ミニ除草ロボットを使い中耕除草を実施
- (5) ロボットによる除草効果を観察
- (6) すでにミニ除草ロボットで実証実験を実施している中村哲也氏(松田氏からの紹介。元日産自動車エンジニアで2013年から開発に着手)を鹿谷小学校にお招きし、中村氏が取り組んでいる実証実験についてお話をいただく。

5. 中耕除草とは

稲の生育初期に根の周りの土を浅く耕すなどして、根の周りの雑草を取り除く除草方法を「中耕除草」という。

※アイガモ農法では、アイガモのヒナが水田内を泳ぎ回る際に、地表面に生えた小さな雑草を浮き上がらせたりするなど、除草効果がある。

6. ミニ除草ロボットとは

プログラミングにより水田の中を自走し、稲の周りの土を攪拌するロボット

